



Q3 生徒から携帯電話の番号や住所を聞かれました。どうしたらよいのでしょうか。

A3 プライベートなことは、教えてはいけないことになっているとはっきり断ってください。

不登校 の定義

何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること。（ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。）

連絡先

- 学校名（教育支援センター名）

- 学校、相談室電話番号

スチューデントサポーターの活動のことで、学校や教育支援センター（適応指導教室）で相談できないことがある時は、電話かメールで下記まで連絡してください。

埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課

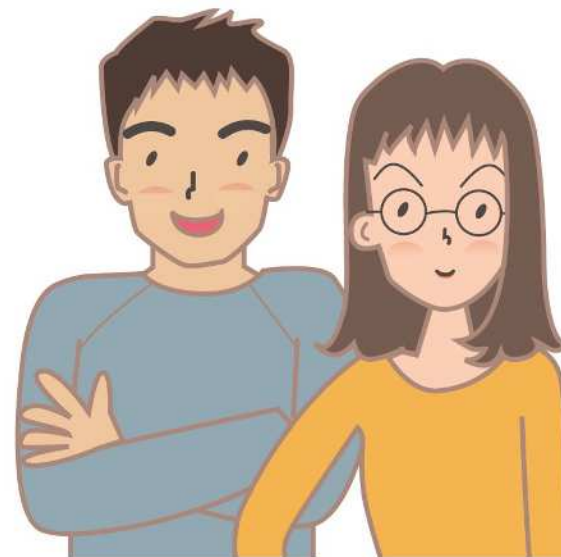
総務・不登校対策・中退防止担当

電話 048-830-6744

E-mail a6740-07@pref.saitama.lg.jp



スチューデントサポーター 活動の手引き



令和7年4月

埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課

スチューデントサポーターとして活動するに当たって

スチューデントサポーターの1日

- 活動場所に到着したら、事務室、職員室等に行き、挨拶をしましょう。
- 身の回りの整理整頓をして、当日の学校行事や日程などについて確認しましょう。
- 担当の先生、相談員、スクールカウンセラー等に当日の活動について指示を受けましょう。
- 退出する際は、整理整頓をして、事務室、職員室等に立ち寄り、挨拶をして帰りましょう。

スチューデントサポーターの活動

スチューデントサポーターの活動は、主に相談室に訪れる子供たちへの対応について、教員や相談員の補助をすることとなっています。具体的には、次のような活動があります。

- 相談室及び別室に登校している生徒の学習補助の手伝いをする。
- 相談室等に登校している生徒の話し相手になる。一緒に掃除や運動をしたり、学校行事に参加（生徒と見学など）したりするなどの活動をする。
- 相談室を訪れた生徒の話し相手になる。
- 相談室の掲示物や配布物づくりの手伝いをする。



スチューデントサポーターとしての心構え

- 常に一緒に考えるという姿勢で生徒に対応しましょう。
- ボランティアという立場でも、生徒たちはみなさんの来校を楽しみにしています。遅刻・欠席する場合は、必ず学校に連絡をしましょう。
- 時間を守る、丁寧な言葉遣いを心がける、身だしなみ（だらしない服装をしない。）を整えるなどTPOに適した行動を心がけましょう。
- 活動中知り得た情報は、学校外で友人や家族に話すことはできません。
- 困ったときには、一人で抱え込まずに、教員や相談員に相談しましょう。

こんな時どうしたらいいの？ Q&A



Q1 相談員が相談室にいない時に、相談室に登校している生徒が突然いじめを受けていたことを話し始めました。詳細を聞いた後で、誰にも言わないでと言われました。どうしたらよいか困っています。

A1 これまでの活動をとおして信頼関係が築かれていたから大切なことを話してくれたのでしょう。しかし、いじめや自殺など学校として対応しなければならない相談については、早期に対応し、解決していくためにも教員あるいは相談員に伝えなければなりません。生徒には、「先生方や相談員と力を合わせて取り組まなければならない問題だ」と思うので、必要なことは伝えておきたい」と率直に話してみてもいいのでしょうか。状況によっては、そのように話すことが難しい場合があるかもしれません。そのような場合にも、教員や相談員との情報の共有を図ることが大切です。

Q2 毎週かわりをもっている相談室に登校している生徒に対する対応の仕方について、担任の先生と相談員から異なる指示を受けました。どうしたらよいか迷っています。

A2 スチューデントサポーターの活動は、あくまで教員や相談員の補助ですので、異なる指示には対応できないのも無理はありません。そこで、どのような点が異なっていると感じたのか、そのことで困っているということを相談員あるいは担任の先生に話してみてください。よく聞いてみるとコミュニケーション不足であることもあります。